

Working Paper Series

○No. 20 (1994. 8)

The Exponential Phase of HIV/AIDS Epidemic in Japan……………稲 葉 寿

Reprint Series

○No. 20 (1994. 8)

Effects of Mass Media on Contraception and Fertility in African Countries ………小 島 宏

○No. 21 (1994. 9)

Determinants of First Marital Formation in Japan : ……………小 島 宏  
Does the Sibling Configuration Matter?

## 1994年人口問題基本調査（第3回世帯動態調査）の施行

1994年から人口問題研究所は、5年サイクルで行っている5つの調査－出生動向基本調査、全国家庭動向調査、世帯動態調査、人口問題に関する意識調査、人口移動調査－を統一して、人口問題基本調査と総称することにした。5つの調査はそれぞれ人口問題基本調査の一環として位置づけられ、本年は第3回世帯動態調査が行われている。この調査は、世帯変動の実態と要因を明らかにするため、第1回（1985年）、第2回（1989年）に引きつぎ厚生省大臣官房統計情報部、都道府県、保健所を設置する市・特別区および保健所等の協力を得て実施されている。調査実施の要綱は以下の通り。

### 1. 調査の目的

人口の高齢化が進行するとともに老人を含む世帯が急速に増加するなど、国民の生活単位である世帯は急速に変化しており、厚生行政を進める上で世帯の実態を正確に把握することは重要な課題となっている。本調査は、世帯変動の実態と要因を明らかにするために行うもので各世帯がどのように形成され、変化したかという世帯動態に関するものである。この調査結果は、福祉施策の基礎資料として役立つとともに、国民が将来どのような世帯で暮らすかを推計するために役立つものである。

### 2. 調査の方法および対象

全国の世帯主および18歳以上の世帯員を対象とし、平成6年国民生活基礎調査（厚生統計親標本設定）で設定された調査地区内より無作為に抽出した200調査区内のすべての世帯の世帯主（世帯票）および18歳以上の個人（個人票）を対象とする。

### 3. 調査の時期

平成6（1994）年10月15日

### 4. 調査の事項

- 1) 世帯の属性
- 2) 世帯主経歴
- 3) 世帯の変化
- 4) 親の基本属性と居住関係
- 5) 子の基本属性と居住関係

（山本千鶴子記）